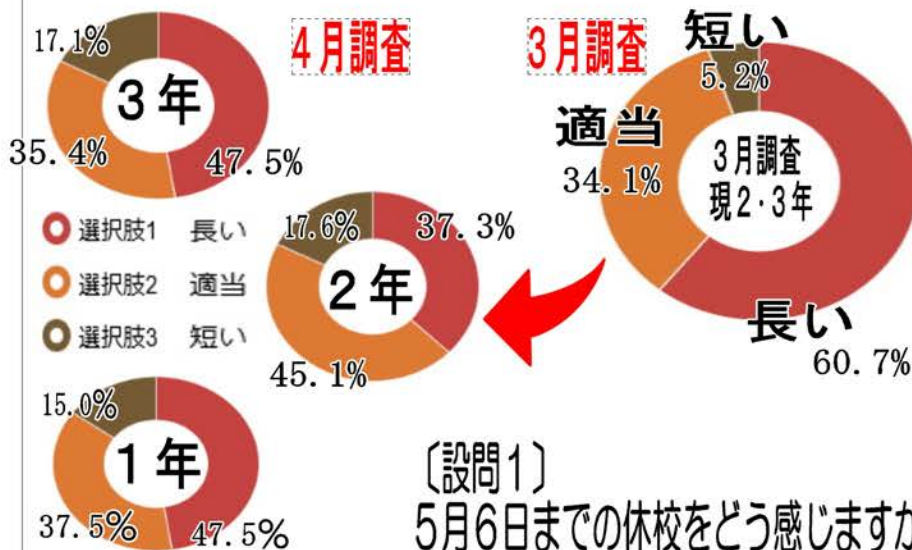


ふたたび臨時休校

続・臨時休校
アンケート特集①

休校期間「長い」減る



3月の休校に引き続き、4月13日から再び臨時休校となった。4月27日には、さらに延長されることが発表になった。新聞部は、4月24日を締切とするアンケートを1・3年生に行い、本校生が今どう感じているかをまとめた。あわせて、前回3月のアンケートとも比較してみた。

〔設問1〕

5月6日までの休校をどう感じますか。(グラフ参照)

アンケート調査の期間の4月中旬段階では、1・3年生全体で「長い」と感じる人が44.6%、「適当」が39.0%、短い16.5%であった。3月の調査では、「長い」と感じた人は60.7%、「短い」と感じた人が5.2%であったので、「長い」と感じる人が16%減ったことになる。逆に、「短い」と感じる人は11%増えた。

●新聞部員の目●



3月2日から休校が決まり、学校へ行かず、家庭での自主学習と友達と会えない日々が突然訪れた。慣れない生活から早く普段の学校生活に戻りたいと思う人も多かっただろう。しかも、4月の登校日はわずか3日ほどとなった。

速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

今回のアンケートについて

今回も、新聞部では、本校に導入されている教育プラットフォームであるClassiのアンケート機能を利用して、1～3年生あわせて950名に対して、アンケートを実施しました。

締切に設定した4月24日までに、1～3年生あわせて534名の回答をいただきました。回答率は、56%でした。

記事は、部員が家で作成し、顧問が編集することで、このキマグレを発行しています。

アンケートに協力していただいたみなさんに感謝申し上げます。

ない日々が突然訪れた。慣れない生活から早く普段の学校生活に戻りたいと思う人も多かっただろう。しかも、4月の登校日はわずか3日ほどとなった。

二度の休校期間を経て、前回から生徒の意識も変わり、新型コロナウイルスへの予防として自宅待機いわゆる「おうち時間」の重要性が定着してきたのだろう。それが休校期間に対する意識の変化に表れている。

テレビや新聞、そこから新型コロナウイルスについての報道を見聞きしないことがなくなかった。健康を優先した結果用意された時間。休校期間の長さをどう感じても、自分なりに工夫してこの時間を過ごせると良いだろう。

〔設問2〕あなたは、新型コロナウイルスの感染予防について十分な知識を持っていると思いますか。

思う 39.7%

「設問3」あなたは、感染が疑われる症状が出た場合、どうすればいいか理解していますか。

理解している 20.4%
だいたい理解 67.8%
あまり理解してない 11.2%
理解していない 0.6%

●新聞部員の目●
現在、テレビや新聞、インターネットでは、新型コロナウイルスに関する膨大な情報が流れている。そのなかには根拠が不明瞭なものも多い。設問2で「思わない」と答えた人が過半数になったのは、どの情報が正しいのか見極められないことが原因の一つとして挙げられるだろう。

設問3では「だいたい理解している」と答えた人が多かった。感染したかもしれないと思ったら、すぐ病院に行かず、「帰国者・接触者相談センター」などの専門機関に相談しよう。